

横田ご夫妻の講演を洗足祭で開催いたしました

9月15日（祝・月）政府拉致問題対策本部及び川崎市との共催で、横田滋・早紀江ご夫妻をお招きして「拉致被害者家族支援講演会」を開催いたしました。当日は中高大講堂・小講堂合わせて1400名を超える生徒・保護者・一般来場者の皆様がご夫妻の講演を聴講されました。

横田ご夫妻は37年前に北朝鮮に愛娘めぐみさんを拉致されて以来、拉致問題全面解決の実現に向け弛まぬ努力を続けてこられました。ご講演の中で早紀江夫人は何度も「闘い」という言葉を使っていたらっしゃいました。まさしく37年間拉致と闘ってこられたこれまでのご夫妻そして拉致被害者家族の歩みを会場全員が真剣なまなざしで聴いていたらっしゃいました。

そしてご夫妻はこの拉致問題を若い世代が真剣に考え、正面から向き合うことの重要性を取り上げられ、今回の講演を企画した生徒会を中心とした生徒たち、そして聴講に訪れた会場の皆さんに何度も感謝の言葉を述べられていました。

洗足学園中高生徒会は洗足祭で拉致問題を取り上げ若い世代が真剣にこの事実と向き合うことの重要性を広め、拉致は絶対に許さないということを訴えようと考えました。これまでの活動として古屋圭司拉致問題担当大臣（当時）を訪問して拉致問題について理解を深める活動や内閣府に設置された「拉致問題ひろば」を訪問し、記者の取材に若い世代として答えるなどの活動も行ってきました。

洗足祭においても2階セミナールーム2において生徒会は拉致問題を取り上げ、生徒たちが古屋大臣を訪問して取材した内容をまとめた掲示や川崎市からご提供いただいた横田めぐみさん・ご夫妻の数多くの写真の展示、そして内閣府よりご提供いただいた拉致問題に関する情報を引き出せるタッチパネル式のモニターを設置いたしました。展示をご覧になったご夫妻からは「生徒の皆さんが自主的に勉強され、展示を作製されたことはすごく大きなことだと思います」と感謝の言葉をいただきました。

今後も生徒たち若い世代が拉致問題に真正面から向かい合い、拉致を絶対に許さないという気持ちを強く持ち理解を深め、様々な活動に取り組んでもらいたいと思っております。



